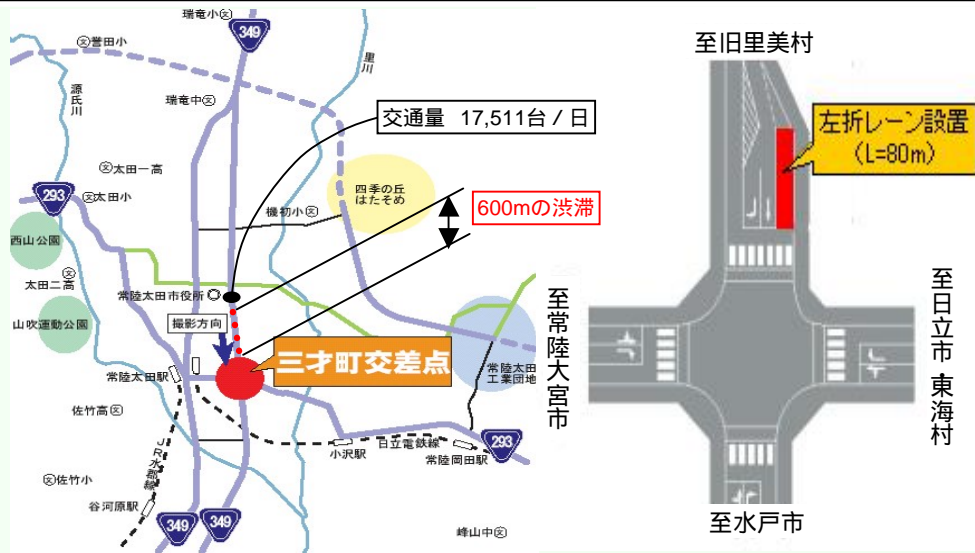


80mの左折レーン設置により600mの渋滞が解消



- 常陸太田市内の三才町交差点では、平日の朝の通勤時間帯及び休日の行楽客の帰宅時間帯を中心に、慢性的な渋滞が発生していました。
- 原因は、旧里美村から日立市・東海村方面に向かう交通の流れが非常に多いためでした。
- そこで、国道349号の将来拡幅用地を使って、80mの左折レーンを設置することとしました。
- 調査から工事まで約1年半、事業費約1200万円により、最大600mあった渋滞が解消され、年間で渋滞損失額約1億円の削減効果がありました。



整備前の渋滞状況

安全快適なみち緊急整備事業

- 事業期間：平成13年度～17年度
- 事業箇所：日常生活において不便をきたしている道路で、交差点、交通危険箇所、幅員狭小区間、通学路などにおいて、県及び市町村で、各200箇所を緊急整備
- 総事業費：県事業 約200億円
市町村事業 約100億円